

概 要

1. 隻 数

海水動力漁船数は県全体で見ると3,133隻（91隻減）であり、海区別に見ると玄海地区が1,094隻（36隻減）、有明海地区が2,039隻（55隻減）となっている。

これを階層別にみると、次のようになる。（対前年増減隻数）

区 分	総 数	玄海地区	有明海地区
1トン未満	1,062 (△42)	321 (△12)	741 (△30)
1トン以上～3トン未満	671 (△12)	324 (△4)	347 (△8)
3トン以上～5トン未満	1,280 (△35)	347 (△18)	933 (△17)
5トン以上	120 (△2)	102 (△2)	18 (0)
合 計	3,133 (△91)	1,094 (△36)	2,039 (△55)

2. 船 質

海水動力漁船の船質はFRP、鋼製、木の順に多く、5トン未満階層船を中心として昭和50年代に急速に普及してきたFRP船は、県全体で99.8%（前年99.8%）、玄海地区99.7%（前年99.7%）、有明海地区99.9%（前年99.9%）となっている。

3. 推進機関

現在、県内の海水動力漁船に搭載している推進機関はディーゼルと電気点火の2種類があり、その出力についても旧漁船法馬力と現行の漁船法馬力[kW（キロワット）]の2種類がある。

旧漁船法馬力漁船の馬力数の合計は37,413、隻数は700隻（平均馬力数：53.45）で、漁船法馬力[kW]の漁船については合計の馬力数が406,008kW、隻数が2,433隻（平均馬力数：166.88kW）となっている。

なお、本書において単に「馬力数」として記載している数字は旧推進機関の馬力数及び新推進機関の馬力数[kW]を区別することなく集計したものである。

4. 無動力船

無動力船は総隻数1,943隻（対前年81隻増）で、その内訳は玄海地区が15隻（対前年18隻減）、有明海地区が1,928隻（対前年99隻増）である。なお、有明海地区における無動力船は、採介藻漁業に従事する船が大多数となっている。